

OCグローバル設立

オリコンサル 海外事業部門を分社化

10月1日から事業開始

ACKグループ

ACKグループは、オリエンタルコンサルタンツの海外事業部門であるGC事業本部を独立(分社化)し、子会社「オリエンタルコンサルタンツグローバル(OCグローバル)」を設立しており、10月1日から事業を開始する。代表取締役社長には、廣谷彰彦ACKグループ相談役会長が就任している。

ACKグループは、中期経営計画「ACK2013(強化骨子)」において、15年9月期に向けた組織改革の1つとして、海外については、オリエンタルコンサルタンツの海外事業部門をACKグループの子会社として独立(分社化)し、グループの海外市場にお

るリーディングカンパニーとすることを打ち出していた。

これを受けて、6月2日に「オリエンタルコンサルタンツグローバル」を設立し、20日には、オリエンタルコンサルタンツとオリエンタルコンサルタンツグローバルが会社分割契約書を締結した。9月30日までに海外顧客への説明などを含む事前準備期間とし、10月1日から事業を開始する。

オリエンタルコンサルタンツグローバルのめざす方向として、「世界的な企業ブランドとグローバルな企業形態」を掲げ、▽世界的な企業ブランドによりナンバーワン、オンリーワンのグローバル企業となる▽海外拠点、現地法人等の強化によりグローバルな人材による多様なサービスを展開する▽従来のODA、コン



左から、小道取締役、宮越代表取締役、廣谷代表取締役社長、福岡取締役

縮役は「海外にさまざまなネットワークを持っている強みを生かしたい」と語った。小道取締役は「引き続き、きめ細かい対応を大切にする」としている。

サルタント業務のみならず新たなグローバルビジネスに挑戦する▽多国籍企業としてメタナショナル的経営に適合する企業形態を築く―ことを挙げていた。

24日に、オリエンタルコンサルタンツグローバルの廣谷彰彦代表取締役社長、宮越一郎代表取締役、福岡裕一取締役、小道正俊取締役が会見を行った。廣谷代表取締役社長は、「取締役全員が海外事業を熟知しており、これまで以上にスピーディな対応ができるなど、グループの総合力も一層上がることになる」と述べた。また、宮越代表取締役は「日本のインフラ整備で培ってきたノウハウなどを生かし、世界市場に展開する」とし、福岡

縮役は「引き続き、きめ細かい対応を大切にする」としている。